

シ主トシ軍又作業隊本部間、暗處ニ從事セリ
八月二十三日編成解除ス

第四作業實施間統率事項

一軍紀風紀

作業隊軍紀風紀關シテ各種事情ヲ具スル編合
部隊關係上特意ヲ用之ガ指揮統御ヲ嚴ニシル給
果作業間軍紀風紀關シ何等事故、發生ヲ見ス

二内務

各隊ハ「ト」レ「ラ」上ニ兵舎ニ收容シ逐次外交交渉進展伴
 ニ現地ニ進入シ實施ニ當リガ此間幹部暨視外ニ行
 動スルト多キニ鑑ミトクニ起居ヲ規律アラセル如ク指導
 シ朝夕軍紀訓練ヲ實施セシムル等内務指導ニ注意
 シタル結果基地「ト」レ「ラ」及現地共生活逐次規律印
 ナリ各隊ハ互ニ協力美風ヲ發揮シ作業ヲ円満ニ進
 捗セシメタリ

尚諸検査會食現地作業視察等ヲ妨メテ多ク各
 隊内務ヲ緊縮シ意志ノ疎通ヲ圖セリ

36
三、經理

作業隊ノ性質上地域の廣大ナ正面ヲ持テ幾多ノ
分散配置ヲトルタメ經理實施ニ當リテハ豫想外
ノ困難並ニ精密ヲ期シ難キ状態ニ置カレアリ

經理實施ノ本部ヲトセラニ置キ、モシハ正面經理
ニ關シテハ一部分ヲ「モトソリ」ニ向サシ尉ニ一任シ分
任官業務ヲトラセタルモ整理ニシテハ總テ主任官扱ト

ナセリ

(一) 補給事項

(1) バンダガイ正面

主ナル糧秣ハ防衛隊ヨリ保管轉換ヲ受ケ、野菜
肉類ハ王爺廟萬田商店ト契約シ定期的ニ輸
送セシメタリ。加給品ハ自動貨車ニテ、ハイラルニ赴
キ軍酒保ヨリ購入セリ

(2) ノモンハン正面

向井少尉ニ所要經費ヲ前渡シ定額ヲ定メ、乾
團内ニ於テ給養ヲ實施セシメタリ。調辦ハスベテ
ハイラル軍酒保「利用」ニヨル

(一) 金 錢 事 項

「國境確定作業隊經理實施要領」ニ定メタル如ク
 俸給給料ハ一切支給セズ差支食隊ニ任レ作業隊
 編入時ヨリ解散食隊復歸迄ノ一切経費ヲ支拂ヒリ
 但シ後拂ヒ運賃ハ滿洲第八五五部隊高木隊支
 拂モト關東軍經理部支拂モト下テ之ガ内容
 ニ依テ決算報告ニ明示シ置キリ
 直接現金支拂額ハ約二萬七千圓ナリ（但シ外務局支
 出ノ一萬二千円ヲ除ク）

糧秣事項

在トレラノ本部、第二警備隊、通信隊、自動車隊
ノミハ同一炊事ヲ實施シ、測量隊、工兵隊及其他如ク
移動分散ヲ要スルモノハスベテ現品ヲ交付セリ
在ノモトソーリンノ自動車隊、第一警備隊、通信
隊ノ給養ハ向井少尉ヲシテ實施セシム
延給養人員ニ只三三人ニ對シ、總括的決算ノ
結果左ノ如シ、外務局又々糧秣費ヲ除ク

現品交付受高

三八四円九六五

保管轉換受

五五五〇、五二一

現地調弁高

三九六三、五九〇

主食給與不足

四二、四二〇

副食給與過

五二三、五七六

炊事用燃料入

約二、八

満軍ニ對シテハ、經理實施要領ニヨリ加給品代

シテ、七〇円ヲ外務局支費ニテ交付セリ

駱駝、給飼ニツイテハ、青草時期ニアタリタルモノ何等

不便ナシ

(四) 被服事項

天候不順ト作業ノ關係ヨリ特ニ兵隊ノ如キハ損
耗率大ニシテ而モソノ復旧ニツイテハ倉庫品ノ新補給
ニヨル外ナキ状態ナリ前線ハ濕地ニ露營多キヲ以テ
天幕等ノ損耗モ少カズ
亡失毀損左ノ如シ

(1) 亡失

防蚊覆面二、毛布一

野戰炊具飯布 二

九五式携行天幕合支柱一

(2)

毀損

天幕、裾、衝

之

火ニヨル天幕、穴(直徑五釐大)

三

(五) 其他

ガソリンハ約三八五缶(下ニ多)使用セリ之ヲ併セ自

動車用燃料トシテ約一萬三千兩程自動車廠

ヨリ交付ヲ受ケタリ

尚自動車部本品現品交付受高ハ約五萬兩ナリ

四 衛 生

一 一般事項

人 氣 象

宿營地、氣象ハ盛夏ノ候ニ際會シ

晝間夜間、差著シク七月下旬ヨリ八月ニ亘リテハ

雨期ヲ迎ヘ濕潤著シク露營ハ勘カラサル

障礙ニ遭遇セリ

2. 給 水

宿營地中央部ニ鑿井ヲ有ス其ノ

水質概ネ良好ト認メラルモ現場又附近ノ衛

生學的ニ良好ナラサルモノ多シ、搬米ニ稍難アルモ

水量豊富ナルヲ給水ニ支障ナシ雜用水トシテ一部
 ドレラ川水ヲ使用セリハルハ河畔作業班ニ
 アリテハハルハ河水ヲ使用セリ水質ハ帶褐色透明
 ニテ硬度稍大ナルモ煮沸飲用ニ適ス

3. 傳染病 宿營地及其附近ニ傳染病

其他流行病ヲ見ズ

(二) 部隊衛生勤務ノ概要

衛生部員本部ノ醫務室ニ於テ診斷治療ニ當リ
 諸方面ニル現地作業班於テハ適宜衛生兵ヲ配屬セタ

尚防衛隊各地區醫官ト連繫ヲ保テ患者收療遺憾
ナキヲ期セリ

(三) 部隊ノ衛生並ニ衛生施設ノ概要

ノ宿舎 主力ハトトラ地区半上寮兵舎使
用シ現地作業班ハ天幕露営ヲナス上寮兵舎
ハ狹隘ニシテ人占有氣容約五乃至七立方メートル
半歳使用セサレタノ荒廢セル部ハ少カラス、宿営
當初ハ極メテ環境不良ナリシモ之カ整備ニ努メ概不
支障ヲ來サザル域ニ達セリ

2. 糧秣

生野菜及肉類共ニ潤澤ニ支給セラル

給養狀況ハ戰時主食定量賄料四十五錢々

加給品ハ清酒甘味品共ニ適當ニ支給セラル

四、患者ノ發生及之カ牧療ノ概要

隊ノ特性上比較的長期ニ亘ル天幕露宮ト氣候

ノ激變トヨリ消化器並ニ呼吸器疾患ノ外少數ノ外傷

疾患ヲ見タル外特記スヘキ疾患ノ發生ヲ見ス

患者牧療ニ関シハ阿爾山陸軍病院ト連絡スル外

一部更ニ隊復歸ヲ命ニ遺憾ナキヲ得タリ

要スルニ全作業間ヲ通シ衛生状態ニ般
ニ良好ニシテ主ナル患ハ外傷ニ外天
候不順爲感冒胃腸病等若干名アリタルモ
傳染病疾患ヲ發生セザリシハ欣快スル所
ナリ
軍醫ハ途中防衛隊ト交代シ隔日来診
セシモ又障ナシ

五 雜件

一、人馬ノ異動

不人員 附表第三人員異動(覽表ノ如シ)

四馬匹 異動ナシ

二、主ナル動靜

不六月二十七日、作業隊長合止會見所於テル第一回會

見ニ立會ス

只六月二十日 作業隊長舎營地ノ初度巡視ヲ行フ

八七月一日 下村全權來隊ス

48

二七月二日 佐々木自動車隊長向井小隊指導ヲタ

秦尉事務連絡ヲタモトソリニテ張ス

ホ七月三日 作業隊長西七高地方面満蒙兩國全

權會見ニテ會ス

ヘ七月七日 作業隊長ハアニ於ケル兩國全權會

見ニテ會ス

ト七月八日 在ノモトソリニ自動車隊向井少

尉連絡ヲタ人來隊ニテ日ヲ歸隊ニ

チ七月九日 作業隊長ハアニ於ケル兩國全權

會見ニ立會ス

リ七月十日 第六軍電報班長後藤大尉連絡多

飛行機ニ未隊

又七月十一日 作業隊長状況視察シタリ三泊

ノ予定ヲ以テノモトヨリニ令張ス

笹井少佐ハ本少尉因少尉隨行ス

ル七月十一日 倉井軍醫少尉事務連絡シタリ

爾ハ遠藤隊ニ令張ス

又七月十四日 作業隊長一行ノモトヨリニ視察シ歸隊ス

ハ七月十六日

作業隊長「エリス」方面、現地作業ヲ

視察ス

カ、七月十七日

作業隊長「ハルト」ニ於ケル兩國全權ヲ

會見ニ立會ス

ヨ、七月二十日

滿洲國測量局長並ニ測量局庶務課

長末隊、笹井測量隊長ノ誘導ニテ

測量状況ヲ視察ス

夕、七月二十日

山本少尉、佐々木第三小委員會ニ連

絡、並現地作業視察、夕、出張ス

七月二十一日

総司令計少尉糧秣購入、佐藤中尉糧

秣率領ノタメ、ハイルニ出張ス

七月二十五日

作業隊長ソーダ河方面ノ作業視察ス

木暮中尉連絡シマルセニ出張ス

七月二十八日

立山技手器材率領ハタメ、奉天、満洲第

四三九部隊ニ出張ス

七月三十一日

作業隊長西マ高地方面ノ地形並

ニ作業状況ノ視察ヲナス

大八月二日

在「モトヨリ」向井少尉連絡来隊ス

ス八月三日

佐々木少佐連絡山田主計軍需物資
購入ノタメハイラルニ支張ス

ム八月五日

作業隊長ハラト方面作業視
察ヲナス

ウ八月九日

作業隊長西ノ三五〇高地方
面ノ作業視察ヲナス

佐々木少佐一行ハモニ方面視

察ノタメ支張ス

エ八月十五日

作業隊長測量隊ノ製圖作業ヲ

視察セリ

八月十八日 菅原尉一行ハモニハニ方面視察

タト安張ス

(三) 隊長會議

第一回(六月二十五日) 各隊長並ニ關係者

集合シ作業隊長ノ企圖ヲ明示シ作業実

施上技術的事項ニ関シ連絡協議ス

第二回(六月二十九日) 現地作業開始ニ當リ

測地進入ニ伴フ各隊ノ行動ニ関シ協議ス

第三回（七月十五日）作業進捗に伴い現地作業
並ニ内務ニ関レ訓示ヨラス

第四回（七月二十九日）六軍作命申第百號ニ
ヨル工兵隊主力引揚ニ関レ爾後ノ作業実
施対策ヲ協議ス

（四）諸検査

人内務検査 六月二十八日作業隊長初度巡
視ヲ兼ネテ第一團内務検査ヲ實施ス、

部隊内務規定ニ基ク各隊ノ兵舎内外ノ整備

ハ良好ナリキ

八月一日第二回内務検査ヲ各隊毎各隊長ニ
於テ實施セシム其ノ報告ヨリハ屋外ノ清掃
掃不十分ナリガ其他ハ規定ノ履行確實ニシ
テ良好ナリキ

2. 自動車検査 七月十九日自動車隊車廠

ニ於テ實施ス 検査ノ結果ハ連日ノ激務ニモ
不拘ヨク車体ヲ整備シテ良好ト認タリ

3. 馬匹検査 七月二十日満軍騎兵隊

馬繋場ニ於テ實施ス検査ノ結果ハ除
長以下愛馬ニ熱心ニシテ其ノ保管良好
ナリシガ中ニ使用者ニシテ馬ニ馴レサル爲
鞍傷等發生シヤリタルヲ以テ之ガ注意ヲ喚
起シ置キタリ

※機密書類検査 第一回七月二十九日第
二回八月二十日 兩回トモ保管整理ハ状態良
好ニシテ異状ヲ認めス

(五) 雜

1. 部隊衛兵、第二警備隊ヨリ司令以下五名ノ部隊衛兵ヲ編成セシメ部隊直接ノ警戒ニ當ラセメタリ
2. 諸勤務、部隊ニ部隊日直將校ヲ置キ各隊二週番下士官(通信隊駱駝隊ハ週番上等兵)ヲ置キ服務セシメタリ
3. 發來翰並ニ電報ノ取扱
發來翰一發翰数五四 來翰数五

會	日	作	失	電
報	々	戰	命	報
	命	命	令	取
	令	令	下	扱
			達	發
			件	信
			数	数
三	五	四		五
九	六	四		八
				受
				信
				数
				二
				四